



問 町の結婚サポート事業について

答 地域の活力支援体制を確立していきたい

伊藤 正子 議員

問 人口減があるがまま受け入れるのではなく、人口をどのように維持、地域の活力を増加させるかを考える上で、若い未婚の男女の結婚を進めていくことが望ましい方法ではないか。

町民税務課長 結婚支援は団体同士が連携をして広域的かつ継続的に推進していくことが効果的であることから「いばらき出会いサポートセンター」が設立されました。平成25年7月に県知事から委嘱を受け「五霞町マリッジサポーター」22名が誕生しました。平成27年度から少子化対策に向け、更に活動を展開していき町としても結婚支援を主体的に実施するため「五霞町結婚支援事業」を立ち上げ、より活動の範囲を広げていきたい。

町長 町の事業でございますので、結婚後五霞町内には非定住していただいで、子どもを産んで育てていく、地方創生の中の一環の重点事業です。結婚から育児までの地域の活力支援体制を確立していきたい。

問 圏央道に周辺地域の開発について

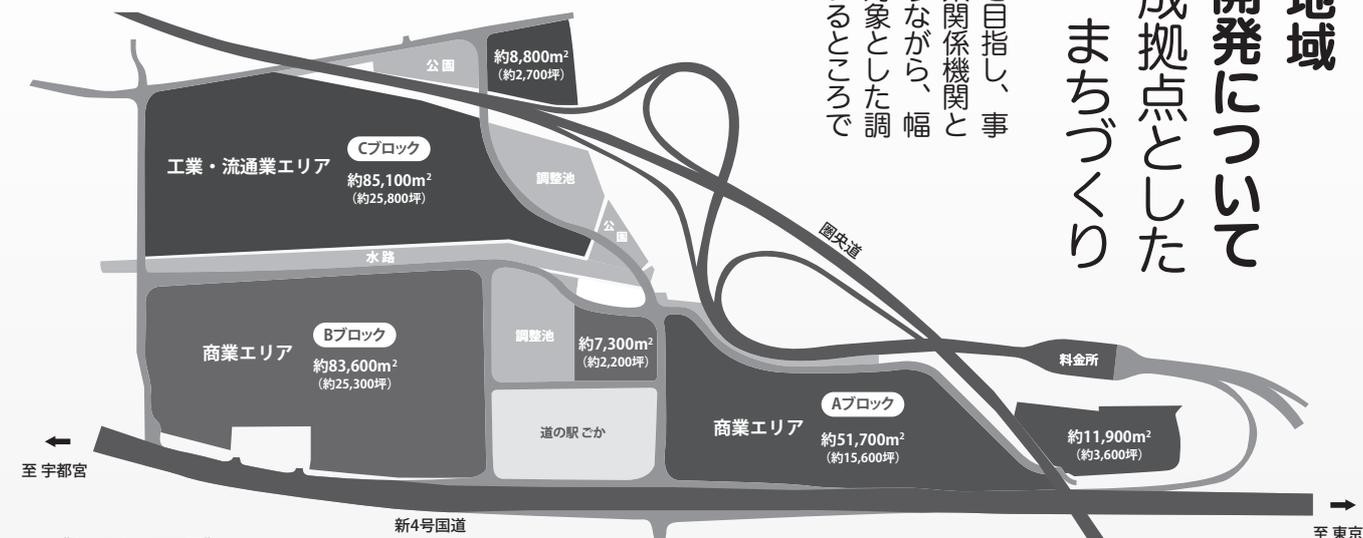
答 新たな産業形成拠点としたまちづくり

問 平成27年3月の圏央道開通、新4号国道の4車線化により、町は変貌を遂げようとしている。町の念願、町民の期待が大きいに周辺開発の現状は。

都市建設課長 集客施設である「道の駅」との連携を考慮して新4号国道に面した商業エリア15.5ヘクタール、県道西関宿栗橋線に面した工業・流通エリア9.4ヘクタールについて、現在造成工事等を進めているところです。また、県西地域に初めて高速道路が開通したことにより新たな人と物の流れが確立され、民間需要の拡大等が期待されることです。これら、新4号国道と圏央道が接続する広域交通体系を最大限に生かした商業・工業・流通など複合的

な企業誘致を目指し、事業主体及び県関係機関との連携を図りながら、幅広い業種を対象とした調整を行っているところです。

商業・工業・流通業。
企業活動のコアを支える条件をフルカバーした次世代型産業拠点が、五霞に誕生。



《ネクストコア五霞》
五霞IC周辺地区土地区画整理の予定

